

平戸市 議会だより

vol.88
令和7年(2025年)
5月1日発行

CONTENTS

1月臨時会
3月定例会

とかいせん

- ②・・・今議会 ここに注目！
- ⑥・・・総務厚生委員会レポート
- ⑧・・・産業建設文教委員会レポート
- ⑩・・・所管事務調査報告（産業建設文教委員会）
- ⑪・・・行政視察報告（総務厚生委員会）・政務活動報告
- ⑫・・・審議された案件と結果
- ⑬・・・一般質問
- ⑮・・・平戸のチカラ



平和の園児童クラブ（紐差町）を利用する子どもたち

とかいせん

No.88 2025.5.1 平戸市議会だより

編集・発行：平戸市議会広報特別委員会 平戸市岩の上町1508-3

TEL22-9170

FAX22-3427 E-mail: gikai@city.hirado.lg.jp

このコーナーでは、平戸市で活躍する人や団体にスポットをあて、ご紹介します。



平和の園児童クラブ（社会福祉法人聖婢姉妹会） 安心して遊び学べる紐差に

4月1日、紐差小学校の前に、「平和の園児童クラブ」が開設された。子どもたちを見守るのは、東和愛児園を運営する（社福）聖婢姉妹会の皆さん。今号では、中部地区念願の子どもたち憩いの場を紹介する。

安心して生活できる拠点

昼間、仕事などで家庭に保護者がいない小学生の皆さんが、放課後や休日に遊んだり学んだり安心して生活できる場として開設。すでに約20人が利用している。



「平和の園」に込められた願い

名称を「平和の園児童クラブ」とした理由を尋ねると、「世界では、戦争や環境問題など痛ましい状況が続いています。ここに集まる子どもたちが大人になったとき、「平和」を実感できるように名付けました」と願いを語る。その第1歩として、利用する子どもたちで1日1羽、折り紙で鶴を折り、「平和の鶴」として8月に長崎市の平和公園へ届けることも計画しているという。

地域との交流の拠点を目標して

普段は、保育士4人（うち支援員2人）が交代で子どもたちを見守り宿題や遊びをサポート。安心して預けてもらえる体制を整えた。また将来的には、体験学習などを通して、子どもたちが中部地区の皆さんと交流できる拠点としても期待されている。



平和の園児童クラブ
しまもと ふじこ
園長 島本 藤子 さん

詳しくは東和愛児園
(028-0156) まで

編集後記

出会いと別れの季節となり、若人たちは、それぞれ夢と希望を胸に進学、社会へと新たなチャレンジのころを迎えています。3年ぶりに広報委員会へ復帰いたしました。すっかり委員の顔ぶれも変わり、この季節と相まって時代の流れを感じますが、ただ、私たちの仕事は議員として、いつの時も市民の生活の安定と行政の監視また提案者としての役割を（市民とのパイプ役として）果たさなければなりません。3月議会において、新年度予算が可決されました。限られた予算の中で最大の効果（成果）をなすように新たな気持ちで（市民目線で）議会活動に取り組んで参ります。

松尾 実

広報特別委員会

委員長	委員	委員長	委員	委員	委員
針尾 直美	松口 茂生	綾香 良浩	池田 稔巳	松尾 実	山内 貴史

平戸市議会

検索

市議会の詳しい情報は、平戸市議会のホームページをご覧ください。

